



シラバス

シラバス 2010 年度の講義概要のデータベースを検索します。

■学部・研究科	環/工	■時間割コード	64348
■科目名 サブテーマ	建設構造材料学	■授業形態/単位	春/2
■担任者名	<u>鶴田 浩章</u>	■クラス	
■講義概要	<p>コンクリートは、建設構造材料として極めて重要なものである。さらに、社会基盤施設の要求性能、設計・施工条件および環境条件、景観などに応じて最適なコンクリートが多種多様に存在する。このような条件を満たす良いコンクリートを作るために、材料の選定、配合設計、施工・養生などがそれぞれの要求される条件を十分満足しなければならない。</p> <p>本講義では、コンクリート構造用の材料に関して、材料の選定から構造物の施工等に係る理解すべき事項についての知識とそれを応用できる能力を修得する。</p>		
■講義計画	<p>第1回 ガイダンス、コンクリート構造物の歴史、他科目とのつながりなど、材料からひろがる可能性(1章)</p> <p>第2回 セメント(2章):セメントの役割・種類・性質、世界のセメント事情、環境負荷低減への取り組み</p> <p>第3回 混和材料1(3章):役割と種類、コンクリートと混和剤</p> <p>第4回 混和材料2(3章):コンクリートと混和材、その他の混和材</p> <p>第5回 骨材1(4章):役割と性質</p> <p>第6回 骨材2(4章):種類とこれから利用が期待される骨材</p> <p>第7回 骨材等に関する演習</p> <p>第8回 コンクリート1(5章):フレッシュコンクリート</p> <p>第9回 コンクリート2(5章):硬化コンクリート</p> <p>第10回 コンクリート3(5章):耐久性と施工に留意が必要なコンクリート</p> <p>第11回 コンクリート4(5章):配合設計</p> <p>第12回 配合に関する演習</p> <p>第13回 鋼材(6章):役割と特徴、疲労・腐食と防食</p> <p>第14回 総括:施工のビデオを見て、材料の性状の確認</p> <p>第15回 定期試験</p>		
■成績評価の方法	<p>定期試験(筆記試験)の成績と平常成績で総合評価する。</p> <p>定期試験(70%)、出席状況及び小テスト(10%)、レポート(20%)で評価して、合計60点以上を合格とする。小テストはCEASを利用して行う。</p>		
■教科書	<p>宮川豊章:監修、岡本享久:編 『図説 わかる材料』土木・環境・社会基盤施設をつくる(学芸出版社)</p>		
■参考書	<p>小林一輔 著 『最新 コンクリート工学』 (森北出版株式会社)</p> <p>村田二郎・長瀧重義・菊川浩治 著 『建設材料 コンクリート』 (共立出版株式会社)</p> <p>竹村和夫・戸川一夫・笹原 篤・庄谷征美 共著 『建設材料』 (森北出版株式会社)</p>		
■備考	<p>関与する学習・教育目標:◎(A)</p> <p>オフィスパワー:学生の申し出により随時行う。e-mailでの予約が望ましい。</p> <p>tsurutah@kansai-u.ac.jp</p>		